



芦崎 達美 議員

大沢・大信田線のバイパスの整備を

質問 現在、埴・大信田地区においては、1本道路のために、有事を考えた時に、このバイパスの整備は絶対不可欠と考えるが、今後町として計画はあるのか。あるとすれば、どのようなルートで考えているのか。

答弁 当初、埴橋から埴・大信田間の道路になく計画で、平成21年度に国の許可を受けて進めていたが、所有権移転が不可能であること、また、用地取得に時間を要することが判明した。



有事に備えてバイパスの整備を

今後のバイパス整備計画については、国の道路交付金後期5か年事業が平成26年度から始まるので、この計画に位置付けて、実施に向け登記等を再調査していく。

再質問 埴地区において、急なカーブが2か所あり、大変危険を感じている。また、除排雪等に難儀しているが改良工事の考えは。

答弁 大信田から埴に入る前で大槻野線に繋ぐ考えに目途が付けば次の

危険な空き家とはどの程度のものを指すのか

事業計画の中で進めたい。

質問 町内の空き家の現状、実態調査を行い、住環境の改善と定住促進を図ると共に、危険な空き家については補助制度を創設することだが、その危険性とはどの程度のことを指すのか。

大変危険な空き家があるが、早急に調査するべきでは。

答弁 町には約300件の空き家があり、平成25年度から平成27年度までの3年間、実態調査と危険度判定調査を行うことにし、初年度の平成25年度は約3分の1に当たる102軒の調査を行っている。

いものは、空き家バンクへの登録依頼をし、定住促進に活用することとし、危険な住宅などについては、解体・撤去などの指導・助言を行い、危険防止することになる。

補助制度の内容については、除却費用の2分の1、50万円を上限に、調査で不良度が基準を超える危険な空き家に対して補助する。

危険の判断基準は、国の危険度調査表に基づき、それぞれの項目の危険度を点数で判断して、合計が100点以上のものが危険と判断される。



町民の皆さまへ

大変お世話になりました

私達4人の議員は、任期満了の4月22日で職務を辞することに致しました。

長い間、町民の皆様から温かいご支援、ご教示をいただきました。

また、先輩や同僚議員、関係者の方々から多くのご指導を賜り、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

振り返ってみるに、能代山本の新市構想の崩壊があり、そして八森峰浜の合併が行われました。

喜びもつかの間、峰浜庁舎の火災が起き、呆然となったことを今でもはつきりと覚えております。

やがて新庁舎が建設され、八峰町発展の「礎」ができたことに、希望と責任を強く感じたものがあります。

町として次々と大きな

事業や町民生活に密着した数々の施策が行われ、少しずつではありますが住民の生活が向上している事に喜びを感じてまいりました。

一方、我が町の人口が減少し続けていること、また、農業や漁業など、基幹産業の苦戦も大変気になるところであります。

次第に地方が疲弊してゆくことをどうしたら止めることができるでしょうか。

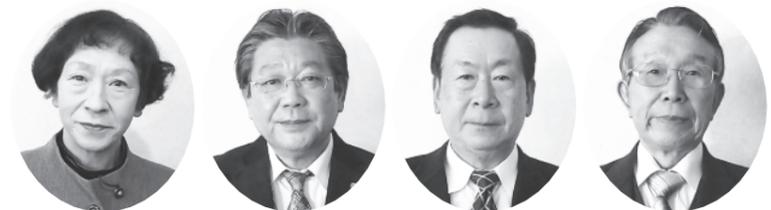
国、県の施策の充実と合わせて、新しく選ばれた議員の方々に、八峰町の将来を力強く託したいと思えます。今後は一住民として地域の向上に努力してまいりたいと存じます。

従来であれば、お世話になった方々に拝趨し、御礼を申し上げるべきところ、

ろ、町民の皆さまへ全戸配布の「議会だより」誌上をお借りしての挨拶となりましたことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

八峰町の淀みない発展を願ってご挨拶とさせていただきます。

- 阿部 栄悦
- 福司 憲友
- 佐藤 克實
- 丸山 あつ子



丸山あつ子議員 佐藤克實議員 福司憲友議員 阿部栄悦議員

平成26年2月28日に行われた第1回臨時会ではこのようなことが決まりました

一般議案

- 八峰町コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定
椿台コミュニティセンターと滝の間コミュニティセンターを条例に追加しました。
- 公の施設の指定管理者の指定
椿台コミュニティセンターと滝の間コミュニティセンターの指定管理者として、それぞれの自治会を指定しました。

補正予算

- 平成25年度八峰町一般会計補正予算（第9号）
228万7千円を追加補正
歳出の内容…林道水の目線改良工事費